

馬場のりゆき

PROFILE プロフィール

1975年3月13日福岡県生まれ。

高校卒業後プロボクサーを目指し大阪へ。

スーパーフライ級西日本新人王、フライ級日本ランキング8位などを獲得するも網膜剥離でボクサー引退。

引退後は主夫として子育て、家事に専念する。家事や子育ての大変さを痛感。

32歳で広告会社を起業。

政治を変える必要性を感じ維新塾へ入塾。

令和4年 大阪維新政治塾優秀賞受賞。

これまでの経験を通じて全ての人が生きやすい世の中を目指し活動中です。

#01 プロボクサーの減量

ボクサーの減量はカロリー計算された食事から始まり、最後はグラム単位での食事や水分は取らないなど過酷なものです。(個人差があります) その過酷な減量を克服し、削りに削った限界ギリギリの所に最高のパフォーマンスが発揮できる状態があるのです。

しかし限界を超えて落とし過ぎてしまうと、まったく実力が発揮できない減量失敗状態になってしまいます。



#02 真の目的

政治も多すぎる人員や予算など、無駄を省く必要があります。しかしボクサーの減量失敗の様に、削りすぎて市民サービスに支障をきたしてはいけません。削る事が目的ではなく、行き届いた市民サービスこそが真の目的なのだから。



お金の使い方

#03 子育ての壁

待機児童解消のために保育園の拡充が進みました。しかし、それで終わりではありません。共働きのご家庭や一人親世帯では、子供が急に病気になった時に預ける事が出来る病児保育施設があまりにも少なすぎます。また手続きが複雑な為、断念してしまう親御さんがほとんどで、どうしても仕事を休まなければならない状況になってしまいます。これでは子育てをすると、収入も会社でのキャリアも多くを望む事が出来なくなってしまいます。



Where do your TAXES GO?
皆さんの税金はどこへ行く?

#04 今、最強といわれるあのチャンピオンの様に

政治家は市民の皆様からお預かりした大切な税金を1円も無駄にしない様に取り組まなければなりません。しかし、病児保育の拡充や、使いやすい制度にするための予算など、現場の声を聞き、必要としている所には人員も予算も増やす事を考えなければならないと思います。削るだけでは無く必要な個所は増量も行う。筋肉をつけ增量し、階級を上げて勝ち続けているあの最強のチャンピオンの様に、強くて優しい政治を目指さなければならない。私はそう思うのです。



政治に

新しい風を
吹き込む

One Osaka!

大阪維新の会

馬場のりゆき ニュース vol.2

発行

城東区を良くする会

536-0013 大阪市城東区鴫野東3丁目6-5 101号 TEL.06-6167-9390

